

1 消防力の現況

(1) 消防体制

ア 常備

平成30年4月1日現在の県内の消防本部数は15であり、このうち、高知市をはじめ8市が単独、19市町村が6つの一部事務組合、5町村が一つの広域連合として消防本部を設置するとともに、東洋町が室戸市消防本部に、芸西村が安芸市消防本部に消防業務を委託しており、常備化率は100%となっている。

消防吏員は1,186人で、前年に比べ21人増加した。

消防吏員の平均年齢は37.5歳で前年に比べ0.1歳高くなっている。年齢階層別では、30～39歳が353人と最も多く、全体の29.7%を占めている。

イ 非常備

平成30年4月1日現在、県内すべての市町村（11市、17町、6村）に38消防団が組織され、分団数は277となっている。

消防団員は条例定数8,804人に対し8,110人で、前年に比べ63人減少した。女性消防団員は297人で、前年に比べ10人増加した。

消防団員の平均年齢は、45.1歳で、前年と比べ0.2歳高くなっている。年齢階層では、40～49歳が2,645人と最も多く、全体の32.6%、次いで30～39歳が2,009人で全体の24.7%と、この二つの階層で全体の57.3%を占めている。

また、60歳以上は960人で前年に比べ30人の増加となっている。

